

岡崎市議会議員

鈴木 ひでき



「いつまでも 安全安心 いきいきと」した 岡崎のまちづくり

発行 鈴木ひでき 後援会 連絡先 〒445-8502 西尾市下羽角町住崎1 TEL 0563-55-1167 FAX 0563-55-1909

まちづくり
3政策

すこやかな
発展を続ける

おだやかな
暮らしを守る

のびやかな
人生を歩める

矢作川避難計画の策定について

提言より波及した取組紹介

【今回紹介の思い】

1. 河川氾濫による**激甚災害が毎年発生**している。本市も多くの河川を有し**他人事ではない環境**にある。
2. 矢作川洪水浸水想定区域図(国交省)によると、**矢作川氾濫時最大20万人の市民に影響**と想定。
3. 「矢作川ハザードマップ」の認知度アンケートにおいて、**46%の方が知らない結果**の事実。
4. 行政は逃げ遅れをなくすため、広域避難計画「**矢作川避難計画**」を策定中。

自然災害で地震災害は予測が難しい。しかし、**風水害は天気予報の精度向上により予測がほぼ可能**

※市民が自身の命を守るための行動に結び付けるために

「岡崎市水害対応ガイドブック」の**認知度向上**と対象地域の**避難計画策定の促進**を図る

矢作川避難計画とは

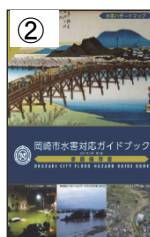
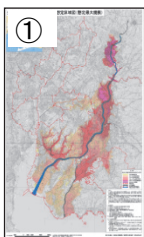
従前のような避難指示等で、約20万人の方が一斉避難した場合、渋滞や混乱が発生し、逃げ遅れた方が被災する可能性がある。そこで、**早期避難情報(24時間前)を発令**し、混乱を最小限に留め、災害避難行動要支援者や自力での避難が困難な方の移動手段を確保し、逃げ遅れの方をなくすことを目的とした計画

<早期避難の考え方>

| Leadtime | 浸水域対象 | 対象人数 |
|--------------|----------|--------|
| 24h前 | 要配慮者 | 約4万人 |
| 20h前 | 10m以上 | 約3.3万人 |
| 16h前 | 5~10m以上 | 約5.1万人 |
| 12h前 | 3~5m以上 | 約3.7万人 |
| 8h前 | 0.5~3m以上 | 約5万人 |
| 従前の発令 2h前 | 全員避難完了 | 全員 |

<対象地域:ガイドブック②に掲載の洪水浸水想定区域図①の浸水地域 >

| 地区 | 小学校区名 |
|----|--|
| 全域 | 広幡、大樹寺、大門、矢作北・西・東・南、北野、六名、城南、福岡、六ツ美北部・中部・西部・南部 |
| 一部 | 愛宕、岩津、井田、連尺、三島、羽根、岡崎(詳細はHPに掲載) |



避難対象地域の方へのお願い

- ・お住まいの被害想定把握
 - ・防災情報や天気予報などの情報収集
 - ・日頃から早めの避難の考え(水平避難)
 - ・逃げ遅れた場合、安全な高い所の把握(垂直避難)
- ※**災害心理**として、都合の悪い情報を無視するなど、**正常性バイアス**が働くことを認識して行動する。

引き続き「岡崎に住んで 本当に良かった」と思って頂けるように取組みます！！

名古屋岡崎線の市内4車線化と御小屋西交差点の渋滞改善について



御小屋西交差点 現状の問題点: 東西信号機に右折信号が無いため渋滞発生

東西信号機に右折信号を設置(2021年度中設置予定)

三菱自動車工業岡崎製作所

北野町

岡崎大橋方面

<4車線化の概要>

【整備区間】
岡崎大橋西交差点
～御小屋西交差点

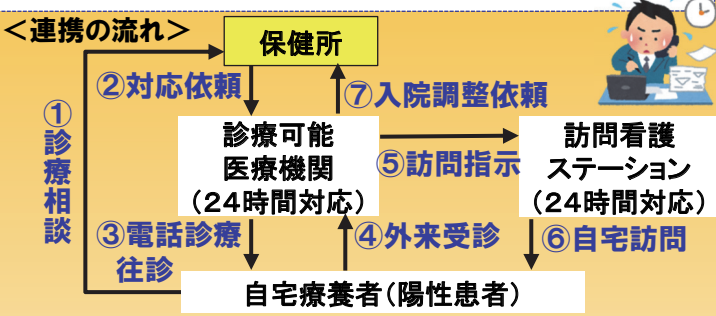
【工事期間】
2021年秋頃着手予定
その後、概ね3年を想定

西久保県議と連携し県に働きかけ渋滞緩和を推進する

トピックス

自宅療養者の医療充実について

【経緯と概要】
現状、自宅療養者に対し保健所が電話による健康観察(体調管理、急変の場合は緊急入院調整など)を実施。しかし、対象者の増加に伴い、夜間電話の対応など職員や救急医療機関に大きな負担となっていた。
そこで、令和3年9月まで、地域の医療機関や訪問介護ステーションと連携することで、保健所と救急医療機関の負担を軽減し、自宅療養者の医療充実を図るもの。



岡崎漆プロジェクトについて

【経緯】
文化庁が重要文化財等の修復に国産漆を使用する方針を出す。しかし、国内の国産漆の使用量は3%である。また、良質な日本産漆は海外ニーズが高い。このことから、昭和初期まで三河地方で栽培された「三河漆」の復活、産地化を目指し、民間事業者や研究機関と公民連携・産官学連携し取り組むプロジェクト。

■漆の国内生産量(農林水産省令和元年データ)
全国生産量 1,997kg 愛知県はゼロです
(岩手県:1,488kg、茨木県:307kg、栃木県:120kg)

■本市の育成場所 日光東照宮陽明門
中山間地域の活性化に繋がるように、農業支援センター温室で育苗後、中山間地域の耕作放棄地を活用し、地域ぐるみの取組の醸成を図る(予定地区:東河原町)。

編集後記

6月定例会の詳細については、下記ドメインまたはQRコードを読んで頂き、市政レポートNo.33 定例会編をご確認願います。

<ホームページのドメイン>
http://www.giin-dnwu.com/suzuki_hideki/

「鈴木 ひでき」検索でも見れます！！

<QRコード>



～6月定例会編の内容～
・ふたり親世帯への子育て世帯生活支援特別給付

市政の話題満載！

